



穏やかな日ざしに、 いつしか春の訪れを 感じる季節となりました。



2月17日より会期中の3月議会において、3月1日に福岡市民クラブを代表して、2023年度当初予算案・条例案に関して、市政全般にわたっての代表質疑を行いました。以下、その一部をご報告致します。

福岡市議会議員 **いけだ良子**

5類になっても、コロナ感染症防止対策に、継続的な公的支援を！

政府は、新型コロナウイルス感染症を「2類」から「5類」へ引き下げる方針を明らかにしました。5類になれば、診療が一般の医療機関に広がり、行政が補助金を出しているコロナ病床がなくなる懸念があります。無料だった医療費やワクチン接

種は段階的に有料となる方向です。感染すれば、高齢者や持病がある方のリスクは変わらないことから、患者の不安を和らげ、医療現場が混乱しない仕組みを確保するため、**公的支援を国に求めることと、感染防止対策を求めました。**

男性も育休が取得できる職場環境を！

安心して子どもを産み育てることができる環境整備のために、仕事と育児の両立支援は社会的ニーズです。2022年施行の改正育児・介護休業法で「産後パパ休暇」がスタートしました。福岡市は昨年9月に「男性育休100%宣言」を行いました。多くの職場では育休が取得できる環境ではありません。男性の育児休暇促進のために、**どういう手立てを講じるのか**を質しました。



学校教育費の保護者負担軽減を！

福岡市は、2022年度の学校給食にかかる原価価格や物価高騰分を国の臨時給付金で補助をしましたが、全国では自治体による給食費の無償化が徐々に広がりを見せていることから、福岡市においても学校給食費の無償化を求めました。さらに、給食費と学用品費などを補助する就学援助制度に関して、**現行の生活保護基準の1.25倍を1.3倍に対象の枠を広げるよう要望しました。**



安心と安らぎの高齢者福祉を！

高齢者乗車券の助成額を増やし、ICカードで利用できる交通機関の拡大（タクシー+バスor地下鉄）と、地域包括支援センターの増設や職員の増員、認知症サポート体制の強化を求めました。さらに、**単身高齢者の住み替え相談体制の充実、若年性認知症の方の社会参加を促進し、就労機会を提供する事業への支援などを求めました。**車を手離しても買い物や通院に困らない交通手段として、オンデマンド交通の導入エリアの拡大を求めました。



都市の価値を高めるために…

天神ビックバンに伴うビルの建て替えが進んでおり、「福岡大名ガーデンシティ」など新たに12棟のビルが落成予定です。オフィスの供給量が約26,000坪増加する見込みで、今後の動向次第では、**オフィスの空室率が増える可能性があることから、ホール機能や人々の交流、学びの場など市民生活の向上に活用すべきと意見を述べました。**



0～2歳児で第2子以降の保育料が無償化に！

2021年の福岡県の合計特殊出生率は1.37です。出生動向基本調査によると理想の子どもの数は2.25人で、理想の数の子どもを持たない理由の最も多いのが「経済的な理由」であることから、第2子から経済的支援をすべきと主張して来ました。ついに保育料の無償化が実現しました。しかし、3歳児以上の副食費は保護者負担であることから、その無償化も求めました。

子ども医療費助成 高校生(18歳)まで対象拡大

就学前、小中学生の医療費は、2021年7月より医療機関1月当たり上限500円です。2024年1月より高校生まで対象が拡大されます。18歳までが子どもであること、高校生は教育費の負担が重くなることから、要望してきました。また、子育て世帯の負担軽減を図るため、未就学児の通院医療費を完全無償化に引き戻すことも要望しています。

221人の学習指導員配置！

2021年コロナ禍で学習に格差が生じたことから、学習指導員が配置されましたが、1年間だけの措置で終了していました。学習支援の効果があつたことから、子どもの学びを支援する指導員を要望してきましたが、221名(各校1名程度)の学習指導員が配置されます。しかし、週10時間程度であることから、拡充を求めています。

自閉症・情緒障がい特別支援学級の新設・増級

障がいがあってもなくても共に学び合うインクルーシブ教育を目標に条件整備を求めています。担任1人ではその実現には程遠い状況です。この間、主に情緒障がいを有する子どもや保護者から、居場所や学習の確保を求める要望を受け、子どもたち一人ひとりの特性に応じた適切な指導や教育、必要な支援を行うために、自閉症・情緒障がい特別支援学級の新設を要望してきました。2023年度は、新たに小学校15校、中学校4校に新設、小学校7校、中学校4校に増級されます。

池田は、2021～2022年度の2年間に渡り、交通対策特別委員会の委員長を務めました。市内の交通政策として、都心部における交通混雑対策や、高速鉄道2号線(空港線)と西鉄貝塚線との直通運転、生活交通のあり方として、市内全域へのオンデマンドバスの拡充、高速鉄道3号線(七隈線)と沿線のまちづくり等に関して調査を行いました。とりわけ、壱岐南校区における生活交通「のーと」への運営補助や本格実施に向けたとりくみについては強く意見を述べました。

橋本駅前土地区画整理事業について

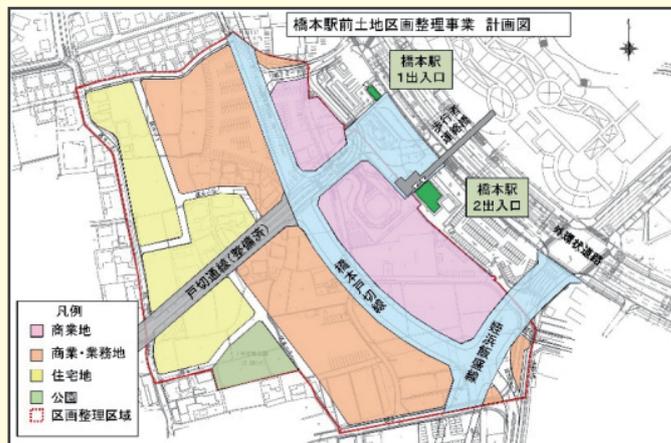
「地域拠点にふさわしいまちづくりを行うため、駅に隣接する街区に商業やサービス機能等を誘導し、地区の西側に良好な住環境の形成を図る」として、2020年7月から組合施行で工事が始まりました。現在、2年後(2024年)の完成をめざして、着々と造成工事が行われています。

【橋本駅前広場の整備】

路線バスの乗降場に加え、新たにオンデマンドバス「壱岐南のーと」専用の乗降場を設置し、一般車及びタクシー乗降場の設置や、乗降場までの歩行者の道線上に、雨に濡れないようシェルターの設置を予定しています。

【交通】

土地区画整理事業区域内における未整備の都市計画施設(橋本戸切線、戸切通線(一部整備済み)、姪浜飯盛線)の整備を行います



(住宅都市局:交通対策特別委員会資料より)

所属委員会・協議会等

- ◎教育子ども委員会 委員
- ◎交通対策特別委員会 委員長
- ◎大都市税財政制度確立推進協議会 委員
- ◎(公財)福岡市教育振興会 評議員
- ◎福岡市子ども・子育て審議会 委員

いけだ
良子
事務所

〒819-0043
福岡市西区野方2丁目13-3
tel:092-812-3447 fax:092-812-3449
http://www.ikedayoshiko.com
nukumori_anshin06@yahoo.co.jp

